

令和5年度

学生によるオレンジリボン運動

福山平成大学 実施報告書



実施主体 福山平成大学

実施内容 令和5年10月20日・21日の大学祭「御幸祭」にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

助産学専攻科授業科目地域母子保健において、児童虐待や児童福祉について学習した。今回児童虐待防止活動の実際を展開するために、市民の来校が予想される大学祭で「学生によるオレンジリボン運動」に取り組んだ。準備として、来校者に、オレンジリボン活動のメッセージカード準備、オレンジリボン配布準備、パワーポイント作成による児童虐待防止啓発活動への準備を行った。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

大学祭では、看護学科棟の正面玄関、エレベータ前に、「学生によるオレンジリボン運動」ポスターを掲示した。助産学専攻科の学生は、来校者800人に、児童虐待防止の説明、メッセージカード依頼、オレンジリボン配布を行った。

③オレンジリボン運動を終えて…

御幸祭（大学祭）の「学生によるオレンジリボン運動」を通して、市民の児童虐待防止活動への意識の高さと子どもへの畏敬の念（子どもは宝、命が一番大切）に感動した。学生自身、「だれ一人、児童虐待を起こしてはならない。その環境を整えるには、自分自身、何をしたらいいのか」

そして、それは、「助産師として、一生涯の取り組みである」ことを痛感した。

来年度も、学園祭で、オレンジリボンの活動を継続するように、後輩に続けていきたい。

